

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2019年12月25日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部・経済学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学バークレー校 現地言語: University of California, Berkeley
留学期間	2019年8月～2019年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年12月30日
明治大学卒業予定年	2021年3月
<b>留 学 先 大 学 に つ い て</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:1月中旬～5月中旬 2学期:8月下旬～12月下旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	41910人
創立年	1868年

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	12620	1380000円	
宿舍費	7000	760000円	
食費	3000	320000円	
図書費	500	54000円	
学用品費	0	0円	
教養娯楽費	0	0円	
被服費	0	0円	
医療費	0	0円	
保険費	700	76000円	形態:プログラム指定
渡航旅費	3800	420000円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	27620	3010000円	

## 渡航関連

渡航経路:東京(成田)ーサンフランシスコ

渡航費用

チケットの種類	ANA
往路	¥210000
復路	¥210000
合計	¥420000

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

ANA のサイト

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

アパート

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 )

3)住居を探した方法:

大学が提供している公式サイトで住居を探した。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

初めてパークレーに留学する人は ihouse がおすすめです。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった  
利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

とくに問題はなかった。相談窓口はある。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大学からの危険地域に関するメールは目を通していた。必要がない限りは近づかないほうが良い。盗難等に巻き込まれることはなかった。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

アパートのインターネット接続は安定していたので、問題なく利用できた。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードとキャッシュパスポートを併用した。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

箱ティッシュ

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

渡航前から留学先大学から指示があるので、期限に余裕を持って手続きを進めた。

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 留学したいという思いがあればしたほうが良いと思う。就活が不安なら出発前から前倒しで準備をすれば良い。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
14 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Sex, Death, and Data	人口学
科目設置学部・研究科	Sociology Demography
履修期間	2019年8月28日～12月6日
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	集団講義、ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に60分が4回
担当教授	Jennifer Johnson-Hanks
授業内容	Our most intimate moments—of birth, marriage, illness, sex, and death—are at the same time our most common, and even our most statistically predictable. New forms of data continue to make these regularities in vital rates clearer than ever. Using population data, we can address questions like: “Why are death rates so different for men and women?” and “Can we really know how often people have sex?” and “How do changes in birth rates matter for social life?” This course provides a broadly accessible introduction to social demography through an examination of some of the social, political, and ethical issues related to death and illness, sex and birth. We will explore how demographers create knowledge about population, what influences population rates, and how population dynamics matter. At the end of this course, you will have a basic toolkit for understanding statistical data about birth and death, and for thinking about population issues as they relate to contemporary life.
試験・課題など	期末中間試験・課題あり。
感想を自由記入	明治大学の人口学の講義を事前に受ければ、より深い学びが得られる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Environmental Economics and Policy	環境経済学
科目設置学部・研究科	Environment Economics
履修期間	2019年8月28日～12月19日
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	集団講義、ディスカッション (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に60分が4回
担当教授	J・GILESS
授業内容	Introduction to microeconomics with emphasis on resource, agricultural, and environmental issues.
試験・課題など	中間期末試験・課題あり。
感想を自由記入	この授業を通して、環境問題を理論と実証両面で考察できる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Macroeconomic Policy from the Great Depression to Today	マクロ経済政策
科目設置学部・研究科	Economics
履修期間	2019年8月29日～12月17日
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	集団講義、ディスカッション (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90・60分が2・1回
担当教授	Emi Nakamura
授業内容	This course will analyze the macroeconomic challenges and policy responses in the United States over the past century. Among the key topics studied are the Great Depression and the New Deal; boom and bust monetary and fiscal policy in the early post-World War II period; the Volcker disinflation and the Great Moderation; and the 2008 financial crisis and the Great Recession.
試験・課題など	期末試験・課題あり。
感想を自由記入	学部レベルのマクロ経済学、計量経済学を固まっていなくて相当厳しい授業であるが、扱う内容はとても面白い。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Academic Writing for ESL	アカデミックライティング
科目設置学部・研究科	UC Berkeley Extension
履修期間	2019年9月10日～11月12日
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	集団講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Wayne Macedo
授業内容	In this workshop-style course, you'll gain the instruction needed to improve your writing so that it is clear and has purpose. You'll learn about the different kinds of essays while practicing skills to strengthen your writing. By the end of the course, you will write more confidently, produce more accurate work and be able to explain your approach to writing.
試験・課題など	中間期末試験・課題あり。
感想を自由記入	アカデミックライティングを体系的に学べたとは言えないので、履修しなくてもいいと思う。

留学に関するタイムチャート
---------------

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	英検
2019年 1月～3月	IELTS、就活
4月～7月	インターン、就活、留学準備
8月～9月	8月下旬～ 留学 就活
10月～12月	就活 10月中旬～下旬 中間試験 11月上旬 ボスキャリ 12月上旬～下旬 期末試験

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	もともと英語で人とコミュニケーションを取るのが好きだったので、高校時代に学校のALTの先生と昼休みや放課後に英語で交流していました。その先生と接していくにつれて、英語で交流することでお互いを理解し合うことができることに感動を覚え、英語を通して色々なことを知ることができることが楽しくなりました。こうした経験もあり、英語が話される国で現地の人と英語でコミュニケーションを取りたいという気持ちが強くなりました。それがきっかけで、大学在学中に積極的に海外留学に挑戦してみようと考えていました。大学1年の春学期にノースイースタン大学の留学生サポーターに参加し、夏休みを利用してノースイースタン大学の短期留学に行きました。NUの学生との積極的に関わることができ、より多様なバックグラウンドを持つ人ともっと関わりたいという気持ちになり、今回のカリフォルニア大学バークレー校への留学を決意しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	日本でできることをやりきってから留学に行くことをおすすめします。なぜなら、基礎的な語学力不足の問題は留学先で悩む問題ではないからです。留学先でしかない、より高い次元の目的、課題に挑戦しましょう。
この留学先を選んだ理由	私は大学入学時から最終的に長期留学に挑戦したいと考えていたので、UCBを選択しました。そして世界の大学の中で相当レベルが高く、有名な大学であるUCバークレー校で学ぶことができるチャンスを逃すわけにはいかないと思いました。世界中から優秀な学生が多数集まって来ます。そんな学生との関わりは私にとって良い刺激になるだろうし、彼らから学ぶことも沢山あると思いました。留学の本来あるべき意味を考えたとき、自身を厳しい環境に置いて挑戦するからこそ見えてくるものがあると思い、UCバークレー校にしました。
大学・学生の雰囲気	バークレー校は落ち着いていて、かっちりとした印象を受けました。また学生のオンとオフの切替の上手さに感心しました。
寮の雰囲気	私が住んでいたアパートは日本人を含めたアジア人が少なく、普段から英語でコミュニケーションを取ることができました。また、居住人数が少数のため、一人一人とある程度深い人間関係を築くことができました。
交友関係	言語の違いはあったものの、常にフラットな態度で接することが重要だと考えました。会話の中で相手の興味のある事を聞き出して、引き出そうと試みた結果、充実した交友関係を構築できました。
困ったこと、大変だったこと	大学の課題、就活、自由時間などに充てる時間配分が難しかった。留学を通して達成したい目的をベースに優先順位を設定し、時間をスケジュールリングした。
学習内容・勉強について	留学前に履修する授業が扱う分野に関しての日本語の書籍を読むなどして準備したので、そこまで大変ではなかったです。留学に対する自分の目的を達成するための手段としての勉強の重要度を把握することが肝要です。
課題・試験について	日常から予習、復習、課題にこつこつと取り組んでいけば、それが試験対策にもなります。
大学外の活動について	サッカー、バスケットボールなどのスポーツを通して交流を持つようにしました。
留学を志す人へ	目的や目標を達成するための手段の1つとして留学があるので、留学した先の自分の姿をイメージして、やるべきこと、やりたいことを納得するまでやりきることが大事だと思います。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	授業	授業	自習	自習
午後	授業	自習	授業	自習	授業	外出	外出
夕刻	自習	運動	自習	運動	自習	自習	交流
夜	自習	自習	自習	自習	交流	交流	自習